

一般質問

# 佐渡を循環型社会の モデル地区に



渡邊 庚二 議員

軽費老人ホームの  
施設長は不要

**質問** 世界的に、台風・豪雨などの自然災害が多発している。原因は、地球温暖化による海水温度の上昇にあると学者は指摘している。

佐渡での実施は微少なものであるが、島ぐるみで取り組みれば大きな注目を集める。

先日、岩手県の葛巻町で、自然エネルギー活用の実情を学んできた。目を引いたのは木材チップの利用である。

1m<sup>3</sup>のチップを、3000円で購入しても灯油より安く上がるといふ。

島内のチップ価格は、1m<sup>3</sup>100円以下である。試算すると燃料費は約20%で済む。施設費が3倍多く必要であるが十分採算がとれる。取り組みべきと考えるが。

**市長** 循環型社会の構築については同感である。森林資源活用のためにも検討したい。

**質問**

畑野地区にある待鶴荘・ときわ荘は、25年間1人の施設長で運営してきた。ところが行政改革が求められる今年になって、県の指導でときわ荘に施設長を置くことになった。しかも、三位一体の改革で県の補助金はなくなっている。もとの形に戻すべきである。

**市長**

そのことは承知していないかった。県と協議したい。

国府川の堤防に桜並木を

**質問**

国府川の堤防に桜並木をつくれなにかということ模索した結果、佐渡地域振



興局の指導で、「桜堤造成事業」に当てはまるのではないかと、3回の検討会を重ねて案をまとめてきた。新しい観光名所づくりのためにも、前向きに取り組むべきと考えるが。

**市長** 現在、県と協議しながら検討中である。

和牛増殖について

**質問**

佐渡牛を復活させたいと、株式会社をつくって、来年50頭の飼育を目指して動き出しているグループがある。冬場の飼料確保のために、休耕田等の利用について、市の

援助を求めている。支援できないか。

**市長** 他の島の成功例もあるので学びながら検討したい。

NPO法人に支援を

**質問**

現在、12のNPO法人があつて、環境保全等に活躍している。活動の支援を考へるべきである。

**市長**

行政の手の届きにくい点を補うということで、NPO法人の活動は理解する。活動のあり方を見ながら検討したい。

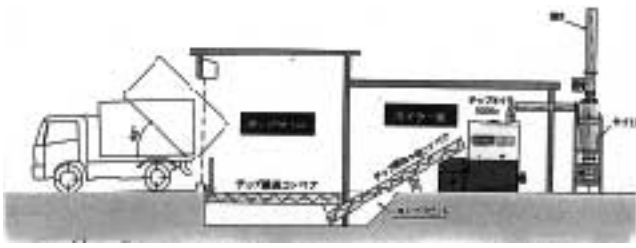
人情零れ話事業の再検討を

**質問**

「人情・恋愛零れ話事業」の効果に疑問を感じる。賞金50万円も破格である。再検討すべきではないか。

**市長**

この種の事業の効果は簡単に出ない。観光との関連では、2万4000枚のポスターを郵便局に貼ってもらうことで効果はあると考えている。



木質チップボイラー